

低学年の年間計画

	月	4	5	6	7 (8)	9	10	11	12	1	2	3	
低学年	課題	わたしの つたえたいこと (じこしょうかい・すきなもの・みんなに知ってほしいことなど 等) (1年・20時間)(2年・22時間)				じゅうけんきゅうはっぴょう (1年・26時間)(2年・26時間)				わたしの つたえたいこと (さいきんのできごと・しょうがっこうでできるようになったこと・自分がきょうみをもっしらべていること 等) (1年・22時間)(2年・22時間)			
	目標	○自分のことについて話すこと(1年) ○みんなに伝わる声で話す(2年) ○話す内容を考え、それについて伝わるように話す(2年)				○自分が探求したことについて話すこと(1年) ○自分が考えた研究の内容を整理し、聞き手に伝わるように工夫して話す(2年)				○自分の思いについて話すこと(1年) ○生活や学習の中から興味をもったことについて伝わるように話す(2年)			
	話すこと	・自分のことで知ってほしいことを見つけ、選んで話すこと。 ・はきはきと伝わる声で話すこと。 ・話す速さ、間の取り方を考えながら話すこと。				・伝えたいことを得に表したり、写真を使ったりしながら話すこと。 ・大切ところはくわしく話すこと。 ・話す速さ、間の取り方を考えながら話すこと。				・みんなに伝えたいことを見つけ、選んで話すこと。 ・内容に応じて絵に表したり、写真を伝ったりしながら話すこと。 ・話す速さ、間の取り方考えながら話すこと。			
	聞くこと	・相手を見て聞くこと。 ・内容を落とさないように聞くこと。 ・「おたずね」したいことを考えながら聞くこと。				・模造紙などに書かれた資料を見て聞くこと。 ・キーワードをメモしながら聞くこと。 ・「おたずね」したいことを考えながら聞くこと。				・話し手のよさを見つけながら聞くこと。 ・自分の知っていることとつなげて聞くこと。			
	話し合う(聞き合う)こと	・聞きたいことを見つけて「おたずね」をすること。 ・「おたずね」されたことに対して自分の知っていることや気づいたことをもとに答えること。 ・友だちの発表の面白さやよさに気づくこと。				・発表者の工夫や発表の仕方のよさに気づき、感想を伝えること。 ・聞きたいことを見つけて「おたずね」すること。 ・「おたずね」されたことに対して自分の知っていることや気づいたことをもとに答えること。				・聞きたいことを見つけて「おたずね」をすること。 ・「おたずね」されたことに対して自分の知っていることや気づいたことをもとに答えること。 ・友だちの発表の面白さやよさに気づき、自分でも興味を持つこと。			
資料作成(書くこと)	・自分の好きなことやものの「写真」や「実物」を見せること。 ・必要に応じて模造紙や画用紙、タブレットを使うこと。				・見つけたことや考えたこと、気付いたことを模造紙などにまとめること。 ・見やすい大きさ(文字や絵、写真)で、資料を作成すること。				・話すときのメモや原稿を準備すること。 ・写真と動画の使い分けを考えて提示すること。 ・見やすい文字の色や行間を意識して、資料を作成すること。				

中学年の年間計画

	月	4	5	6	7 (8)	9	10	11	12	1	2	3	
中学年	課題	私の伝えたいこと (ロング一言・私の夢中になっていること・気になったことを伝えよう) (3年4年・22時間)					自由研究発表 (3年4年・26時間)			私の伝えたいこと (問いかけ型・ロング一言・みんなにおたずねしたいこと) (3年4年・22時間)			
	目標	○生活・学習の中から関心をもっていることについて話すこと(3年) ○自分の生活の中からみんなに聞いてほしいことや伝えたいことを決め、それについて話すこと(4年)					○継続的に探究してきたことについて話すこと(3年) ○興味のあることや、熱中していることなどから研究したいことを決め、研究してわかったことや考えたことを工夫して話すこと(4年)			○生活・学習の中から学友の考えを聞きたいことを話すこと(3年) ○自分の生活の中からみんなに聞いてほしいことや伝えたいことを決め、それについて工夫して話すこと(4年)			
	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活や身の回りの中から伝えたいことを見つけて話すこと。 伝えたいことの中心を意識して話すこと。 聞き手が内容をイメージできるように順序や資料などを工夫して話すこと。 					<ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことの中心が聞き手に分かるように話すこと。 時間配分を考えながら話すこと。 			<ul style="list-style-type: none"> みんなに伝えたいことや考えたいことを選んで話すこと。 伝えたいことの中心を意識して話すこと。 			
	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 「うなづく・拍手」等、反応しながら聞くこと。 話し手の伝えたいことの中心を意識して聞くこと。 「わかった・わからない」等、整理しながら聞くこと。 					<ul style="list-style-type: none"> 研究の中心を捉えて聞くこと。 テーマ設定について着眼のよさや工夫を考えて聞くこと。 発表者のがんばりを捉えて聞くこと。 			<ul style="list-style-type: none"> 面白さや楽しさ、不思議さを捉えて聞くこと。 自分の発表や学習・生活に生かすために聞くこと。 			
	話し合う(聞き合う)こと	<ul style="list-style-type: none"> 発表された内容にそくしたおたずねをしたり、つけたしをしたりすること。 話し手と自分の考えの相違点に着目しておたずねをすること。 相手の意見を尊重しながら、自分の考えを伝えること。 					<ul style="list-style-type: none"> 「おたずね」を通して、いろいろなことが分かる楽しさを感じる。 「おたずねに」対して理由や根拠を明らかにして応えること。 その題材を選んだ発表者の生活や学習とつなげて考えること。 答えられなかったことを基に、新たなめあてをもつこと。 			<ul style="list-style-type: none"> 話の中心をとらえてつけたしをしたり、おたずねをしたりすること。 おたずねのやりとりを通して題材への捉え方を広げ、新たな視点に気付くこと。 			
資料作成(書くこと)	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことを中心に、模造紙やスライドを作成すること。 模造紙やスライドの文字の大きさや量、色を変えて表すこと。 文章と箇条書きを使い分けて書くこと。 					<ul style="list-style-type: none"> 見やすさを意識して、画像の大きさを変えたり、アップやルーズの写真を使い分けたりすること。 表やグラフを使い分けること。 考えたことや分かったことが伝わるように、資料を作成すること。 			<ul style="list-style-type: none"> 聞いてほしいことや伝えたいことをもとに、何を見せるか、何を見せないかを選び、具体物や反具体物を用意すること。 図やグラフ、実物などの提示するタイミングを考えて資料を作成すること。 				

高学年の年間計画

	月	4	5	6	7 (8)	9	10	11	12	1	2	3	
高学年	課題	私の伝えたいこと (気になったことを伝えよう・自分の身の回りのこと・最近の気になるニュース 等) (5年・11時間)(6年・9時間)					自由研究発表 (5年・13時間)(6年・17時間)			私の伝えたいこと (友だちにたずねてみよう・12歳の主張 等) (5年・11時間)(6年・9時間)			
	目標	○自分の生活の中からみんなに話したいことを見つけてわかりやすく伝えることができる ○人数や時間に合わせて、自分の話し方や聞き方を調節することができる (5・6年)					○研究した内容を相手にわかりやすく伝える ○自分の研究の中心が伝わるように話す ○聞き手のおたずねや感想から研究についての新たな視点を獲得 ○研究の要点を捉えながら聞く (5・6年)			○自分の気になっていることや主張をわかりやすく伝える ○友だちの気になっていることや主張に対して自分の考えをもつ (5・6年)			
	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活や身の回りの中から話題を見つけて話すこと。 伝えたいことの中心を意識して、その面白さや魅力が伝わるように話すこと。 相手の興味を喚起する構成を工夫して話すこと。(問いかける、反応を見る等) 					<ul style="list-style-type: none"> 資料や項目等に従って自分の言葉で話すこと。 必要に応じて要点をまとめたり、くわしく説明したりしながら話すこと。 自分の個性がどう学級で価値付けられているのかを感じ取りながら話すこと。 			<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活や身の回りの中から話題を見つけて話すこと。 話題の中心を意識して話すこと。 主張を支える事例やたずねたいことの原因を挙げて話すこと。 			
	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 未知の事柄については想像力を働かせて聞くこと。 話し手の背景を意識して聞くこと。 					<ul style="list-style-type: none"> 発表者のこれまでの発表と比べて(共通点・相違点)聞くこと。 発表者の個性的な追求や発表のよさを捉えて聞くこと。 			<ul style="list-style-type: none"> 話し手の主張に対して自分の考えを持つこと。 話し手の主張の内容について自分の知識や経験と比べて聞くこと。 			
	話し合う(聞き合う)こと	<ul style="list-style-type: none"> 話の中心をとらえて、話し手の考えについて、「おたずね」をしたり、「つけたし」をしたりすること。 自他の考えの共通点や相違点に着目しながら、「おたずね」をしたり、答えたりすること。 発表者の工夫や発表の仕方等のよさに気づくこと。 					<ul style="list-style-type: none"> 発表者の工夫や発表の仕方等のよさに気づき、そのよさを価値づけた感想を伝えること。 「おたずね」に対して、これまでの追求をもとに的確に答えられること。 普段気づかない友達のよさを見つけ、一人ひとりにそれぞれのよさがあることが認識すること。 			<ul style="list-style-type: none"> 話の中心をとらえて、話し手の考えについて「おたずね」をしたり、「つけたし」をしたりすること。 それぞれの考えを伝え合い、題材の価値に迫る新たな「問い」を生むこと。 			
資料作成(書くこと)	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手に対して伝えたいことが十分伝わるように、具体物や写真、表やグラフを使い分けること。 伝わり方を意識して、文字や写真、グラフなどの表し方や大きさ、配置を吟味すること。 友だちが行ってきた発表資料の構成の工夫も取り入れながら、資料を作成すること。 					<ul style="list-style-type: none"> 発表場面を想定して、自分らしさの現れる発表資料を作成すること。 伝えたいことを効果的に伝えるために、テーマや見出し、キーワードなどの構成を工夫すること。 結果と考察、感想を分けて資料を作成すること。 			<ul style="list-style-type: none"> 主張したいことをもとにして、一枚のスライドにどのくらいの情報量を入れるか決めること。 持ち時間の中でどこに時間をかけて話すかを考えて資料を作成すること。 				

